



【写真・文】大森 竹之助さん
(久慈市在住・74歳)



タチツボスミレ (すみれ科)

スミレは日当たりのよい所によく見られる、ごく普通の植物であるが、子どもたちが野原にスミレを摘んで遊ぶ姿は昔のことになってしまった。

白井から鳥居への道に入ると、途中にスミレが咲いていた。群がり生えているわけではないが、目にまばゆい。草丈は10センチメートルほどで、小さくかわいらしい。スミレの名の由来を調べてみたら、いろいろと述べられていた。大工道具の墨壺すみつばに似ているから、花の形が炭入れに

似ているから、古くからスミレ摘みの行事があつて、「つまれる」が転化したとか、染めるといふ意味からスミレとなったとか、などまだまだ書かれている。

スミレの利用も今は聞くことはない。かつては若葉は山菜として食べられたし、薬用としての利用もあり、有用な植物であつた。葉の美しさは変わらな

◇幼児向け
『ねずみちゃんとりすちゃん』
どい かや



ねずみちゃんとりすちゃんはとっても仲良し。お話ししたいことがたくさんあつて、いつでもどこでもべちゃやくちや。ある日おかしづくりをすることになりますが…。 学習研究社

◇小・中学生向け

『アマリア姫と古城の宝』
アレクサンドラ・フィッシャー・フーノルト



人質をとられ、死の湖へよびだされたアマリア姫。相手は人間社会から来た、ユウレイハンター。この悪がしい男との知恵くらべに勝つことができるでしょうか。 さ・え・ら書房

◇一般向け
『ダ・ヴィンチ・コード上・下』
ダン・ブラウン



ルーヴル美術館長が死体で見られる。彼は死の直前、不気味な暗号を現場に残していた。数々のダ・ヴィンチの絵画の謎が導く、歴史の真実とは。 角川書房

◇一般向け

『明日の記憶』
萩原 浩



告げられた病名は若年性アルツハイマー。どんなにメモでポケットを膨らませても確実に失われていく記憶。治らない病気とどう向き合っていくのか考えさせられる一冊。 光文社

図書館漫歩

- 開室時間 9:00~17:00
- 休室日 毎週月曜日
- TEL・FAX 36-1044